連載17 21世紀はチーム指導の時代
国内外の指導者と手を結んで

「チーム指導」とは、音楽業界ではまだあまりなじみのない考え方かもしれない。生徒一人一人の個性を大切にし、最大限に伸ばそうと考えた結果、この「集団で指導にあたる」という結論に至った長谷川淳先生。そのパートナーは海外にまで及ぶ。1対1の個人指導が主流である音楽の世界で、はたしてチームを組んで育てることがどのような効果を生むのか。長谷川先生にリポートして頂いた。

▲シルデ先生のレッスンを豊橋で。

すべての年齢層の生徒を1人でカバーできない現実

私のピアノ指導に最も大きな影響を与えたのはピティナ・ピアノコンペティション審査を通じて知った各地の素晴らしい指導者の取り組みです。先日第一生命ホールで聞かせて頂いたコンペ入賞者記念コンサートは本当にハイレベルな演奏の連続でしたが、特に特・G級等と小学低学年の両サイドの演奏の素晴らしかったこと!

それについても、どんなに頑張ってみても1人の先生で全ての年齢層をカバーするのには限界があるのでとは、改めて考えてしまいます。私は4年前に音高の専任を退いた後は未体験だった小学低学年の指導にも真剣に取り組み始めました。そして子供を教える重要性や喜びを知ると共に、多くの困難も経験しました。子供の心理や興味など大人の視点からでは捉え切れず、今だに戸惑う毎日です。

またD～F級等の上級エリアでは先の特集でも触れられたように、多くの生徒が壁に当たりコンペ参加を断念する実情があります。これは年齢が上がれば勿論生徒を取り巻く様々な環境がピアノの練習を困難にしていることも事実ですが、教える側にも困難が横たわっています。上級の課題曲は大作曲家が心血を注いだ作品が目白押しです。相応の指導をしようとすれば当然高度な専門知識や演奏経験等が必要となります。例えば近現代だけを取り上げてもラベルやドビュッシーが得意な先生が必ずしもラフマニノフやプロコフィエフが得意とは限りません。邦人作品などは資料も少なく経験だけが頼りです。すなわち級が上がるほどそれぞれの教師の得意分野や専門分野が生かされ、又は障害にもなってくるのです。

集団指導という考え方

そこで私はかねてから考えていることは、今後の指導法として1人の先生が全てを抱え込んでしまうのでなく、複数でチームを組んで指導に当たる集団指導体制です。

「この作曲家は私の得意分野だけど、これはA先生の、それはB先生のところで指導を受けておいで!」と生徒に気楽に言える体勢が出来れば生徒にとっては勿論有益であり、指導者の持ち味も、もっと生かせるのではないかと思います。

その輪をさらに一歩進めて海外にまで広げることも可能です。近年わざわざ渡航せずとも海外から多くの著名な指導者が来て下さり、地方でも受け入れる体勢さえ整っていれば生徒に素晴らしい機

▲キルシュネライト先生のレッスンの様子

◀自宅に新設したホール。

▶月に一度、ピティナ正会員の根津栄子先生宅（千葉）でレッスンを。

会が与えられます。私も以前から恩師でありミュンヘン音大や東京芸大で多くのピアニストを育てたクラウス・シルデ教授（ドイツ）が来日される度に学校にお願いして豊橋にお招きして公開講座やレッスンを開催してきました。

しかしもっと自由に自分の理想を具体化する為に昨年夏にささやかなホールを作り、これを記念してドイツの巨匠シルデ先生とドイツの新鋭キルシュネライト先生をお招きして、公開レッスンを実現することが出来ました。シルデ先生は、「次はコンチェルトのレッスンをやろう！」と張り切ってお帰りになりました。今後の展開が楽しみです。

パートナーを見つけるために

しかしこうした集団指導体制を作るには先生間の密接なコミュニケーションが前提条件です。そしてそれを飛躍的に加速させる鍵がインターネットです。ピティナを通して出会うことが出来た日本中の優れた先生方とインターネットの情報網をフルに活用してネットワークを作ることが出来ればどんなにか素晴らしいことでしょう。近い将来は自宅のレッスンでちょっと困ったことがあれば直ぐに高速インターネットで結ばれたＴＶ電話回線を使って東京の先生のアドバイスや遠隔レッスンを受けることも可能でしょう。海外の先生とのやり取りも夢ではありません。

しかしどんなにテクノロジーが進んでもやはり人と人との直接のコミュニケーションは欠かすことは出来ません。その核となるのがステップです。こうしたソフト・ハード両面の素晴らしい環境が整って行く中で私の夢は果てしなく拡がります。そして本当の意味でのチーム指導が実現する日を目指してこれからも頑張ります。

長谷川　淳
Jun Hasegawa

Profile

愛知県立芸大、ミュンヘン音大卒業、宇都宮淑子、林秀光、K・シルデの諸氏に師事。毎年ピティナ・ピアノコンペティションを始め多くのコンクールで上位入賞者を輩出する。現在、名古屋芸術大学、金城学院大学、桜丘高校音楽科各講師、当協会正会員。
（ホームページ　www2s.biglobe.ne.jp/~juna/）